

小林正美先生のご略歴

明治大学理工学部教授 工学博士

1954年東京生まれ 東京都私立武蔵中学/高等学校卒業、東京大学大学院修士課程修了の後、丹下健三・都市建築設計研究所勤務。フルブライト奨学金にて米国留学し、ハーバード大学大学院修士課程修了。

帰国後、東京大学大学院博士課程修了。明治大学理工学部専任講師、助教授を経て現職。

ハーバード大学客員教授 (2002)

カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員 (2007)

NPO法人「まちづくりデザインサポート」理事長

アルキメディア設計研究所 主宰

東京都台東区景観審議会会長、川崎市横須賀市景観審議会会長、兵庫県姫路市デザインアドバイザーなど

専門は建築設計および都市デザイン論。

「シャレットワークショップ」の手法により全国各地でまちづくり活動に参加。

東京の下北沢地区、岡山県高梁市、兵庫県姫路市などの都市デザインを具体的に手掛ける。

明治大学大学院では、本邦初の完全英語教育によるプログラムを開設し、国際的に活躍する専門家を育成している。

主な著書

「ボストン建築探訪」(丸善 1991)、「東京再生」(学芸出版 共著 2003)

「インターベンションⅡ (都市への介入)」(鹿島出版会 2003)

「市民が関わるパブリックスペースデザイン」(エクスナレジ社 2015) など

主な受賞

2007年「国際文化会館の保存再生」で日本建築学会賞(業績部門)受賞

2008年「学びの森」プロジェクトで土木学会デザイン賞最優秀賞受賞

2015年『岡山県高梁市における「シャレットワークショップ」手法による大学連携まちづくり教育への継続的取り組み』で建築学会教育賞受賞

2016年「姫路駅北駅前広場および大手前通り」プロジェクトでグッドデザイン特別賞受賞